

令和4年2月25日  
教育研究・研修課

## 第12回世田谷ガリレオコンテスト（科学コンテスト）の実施結果について

区立中学生の科学への関心を高め、豊かな創造力と問題解決の力を育み、学ぶ意欲を醸成するため、自然科学・科学技術（プログラミング、ものづくり等）等に関する研究作品を募集し、「第12回ガリレオコンテスト」を実施したので報告する。

1 日 時 令和4年1月22日（土）午後2時～4時

2 会 場 教育総合センター

※教育総合センターメッセと同時開催として会場での参観かオンラインによる視聴かのいずれかの選択制で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、会場は発表生徒の関係者に限定し、一般の参観者は、Z o o mによる視聴とした。

3 今年度の実施状況

(1) 一人一台のタブレット端末の活用

①今年度より一人一台配布されたタブレット端末を活用して生徒自らが情報を収集し、写真の撮影、実験結果の記録等を進めた。発表用の資料はP o w e r P o i n tを用いて作成し、情報共有や作品提出にはT e a m sを活用するなど、生徒自身がICTを駆使して研究を行った。

②発表に際しては、生徒自身がそれぞれの端末を操作し、プレゼンテーションを行った。

(2) 双方向性を重視した研究発表

3つの会場に3名の生徒が分かれて研究発表を行う形式にした。発表の後に、質疑応答を行い、自分自身の考えを広げたり深めたりできるようにした。

4 参観者数 128名（オンライン参観者＝一般・学校関係者・講演講師等 58名）  
（会場参観者＝保護者・引率教員 34名）  
（発表生徒・審査員・運営従事者 36名）

5 発表準備 応募総数3,160点の中から第1・2次審査を経て9作品を選出した。  
12月の勉強会、1月のリハーサル等を通じて発表の準備を進めた。

6 コンテスト概要

(1) 研究発表

教育総合センター2階の3つの研修室を使い、各会場選ばれた3名の生徒がそれぞれ研究発表、質疑応答を行った。

(2) 講演 「大学における宇宙活動」 ※オンラインによる配信  
 講師 渡邊 力夫 准教授 (東京都市大学理工学部機械システム工学科)

(3) 全体会

教育総合センター1階の大研修室に会場を移し、結果発表・表彰の後、ガリレオ賞を受賞した3名の生徒による研究発表を行った。最後に審査委員長より指導・講評を行った。

## 7 審査結果

(1) 受賞者

①ガリレオ賞 (最優秀賞)

阿部 幸嬉 (桜丘中学校2年) 「オンライン授業システムSMOOZの構築」

千葉 ひかり (駒沢中学校2年) 「マスクを安全に取り扱うには？」

青山 海央 (上祖師谷中学校2年) 「ダンゴムシの研究 Pt (パート) 2」

②アイデア賞 (優秀賞)

飯塚 悠人 (砧南中学校1年) 「人命救助ロボットについて」

和田 拓士 (喜多見中学校2年) 「パイナップルをピリピリせずに食べるには」

③ドリーム賞 (優秀賞)

伊藤 有香 (用賀中学校1年)

「手洗いうがいには有効か？～寒天培地による細菌繁殖の観察～」

公文 理斗 (東深沢中学校1年) 「自家製酵母について」

④サイエンス賞 (優秀賞)

井口 晴琉 (駒留中学校1年) 「パスタブリッジで強い構造を考える」

清水 祐輔 (瀬田中学校1年) 「どうしたら長距離を速く走ることができるのか」

(2) 審査員

大学副学長、財団職員、中学校校長・副校長、科学実験室職員の計10名で構成

8 協力団体 東京農業大学、東京都市大学、一般財団法人材料科学技術振興財団、  
 公益財団法人加藤山崎教育基金、公益社団法人世田谷工業振興協会

9 今後の対応

令和4年3月 YouTubeによるオンデマンド配信開始